

令和5年度 大阪府立岸和田支援学校 第2回学校運営協議会議事録

【日 時】 令和5年10月20日(金) 13:30~14:30

【場 所】 本校 1F 地域支援室

【出 席】 会長…高田昭夫氏

副会長…小川英夫氏 (zoom にて参加)

委員…田中由紀氏、池田友美氏、宇賀敦子氏、山條光代氏

校長…塩谷謙二

教頭…宮田高雄、平岡洋介

首席・指導教諭…有山暁雄、井上鉄也、小浦亜由里、川並しのぶ

学部主事…福積聡子、前田詳人

【議事録】

会長挨拶

学校長挨拶

協議事項

① 学校教育自己診断の中間報告

⇒9月28日「さくら連絡網」にて保護者にお知らせし、10月12日締め切りで実施した。回答率が芳しくなかったため締め切り日の延長をお知らせした。10月19日現在で回答率は約64%ほどである。児童生徒の回答率は約40%ほどである。締め切り日まで回答を待って集計する。教職員の回答率は100%。

② R5 年度学校経営計画自己評価(案)

⇒働き方改革については、大阪府が特に進めている。1授業力を含む専門性向上の取組については、専門性を持った教員による OJT として育成中である。2授業及び一人ひとりの児童生徒への支援の充実については、個別の指導計画を重視している。授業力向上のため校内 PT を

立ち上げて取り組んでいく予定である。3センター的機能の充実については、人権研修を実施し、とても好評であった。講師の意向によりオンデマンド配信はなく対面での研修であったが外部からも4名の参加があった。4働き方改革については、PTAの協力を得て「さくら連絡網」の活用を始めているところである。

③ 教科書採択については子どもたちの実態に合わせて選定しているが、教科指導を受ける子どもたちにも対応できるように考えて採択している。

④ 保護者からの意見調査審議

⇒特になし

⑤ その他

Q. 学校経営計画についてPTAの協力を得てさくら連絡網を活用しているが、活用することで子どもたちへの支援につながっているか、また、アンケート項目の中で業務の軽減について教員、保護者がどう思っているのか、次回の協議会の時に教えてほしい。

A. 集計の結果はお知らせする。

Q. さくら連絡網について、欠席遅刻の連絡はできるが、ほかの細かい連絡ができないので、どうすればよいか。遅刻の備考欄に記入している保護者もいる。

A. その他の連絡を受ける項目を追加できるか確認する。

➡さくら連絡網の項目を増やした。

Q. 8:30までしかさくら連絡網が受け付けられないので困る。

A. 今は解消されており、終日受付可能。

Q. さくら連絡網の使用について、電話連絡よりよい良いか

A. 電話より連絡しやすい。電話であれば担任を呼びだしている時間のタイムロスがある。

Q. さくら連絡網とは?

A. アプリによる連絡ツール

➡課題はあるが、より良い方向で進めてほしい。

※ 各協議事項については承認された。

事務連絡

第3回2月20日(火)⇒2月2日(金)に変更の確認。13:30~14:30にて実施する。

閉会